

# 議会の動き

6月定例会では、3つの常任委員会のほかに、5月の臨時会において新たに設置した「災害に強いまちづくり特別委員会」を開催し、3月に発生した東日本大震災の教訓を踏まえて、市民生活の安全安心のため、災害に強い福生市を築くにはどうしたらよいかを検討することになりました。

その検討事項を特別委員会の設置目的である「福生市防災計画の見直しについて」「被災地復興支援について」「災害に強いまちづくりについて」の3つに区分けし、最優先で検討していく事項について協議しました。

その結果、今回は、いまだ復旧の最中である被災地への復旧・復興支援が、市と議会がまず早急に取り組むべき最優先課題であるとして、次の特別委員会では、被災地への支援で至急しなければならないことを検討することになりました。

このほかに、東日本大震災関係では、議会運営委員会提出で、被災地の1日も早い生活再建と復旧・復興のための法整備等を国に求める「東日本大震災復興支援の法整備と第二次補正予算の早期編成を求める意見書」と、大震災による原子力発電所事故に伴い全国統一の安全基準を策定し、適切な助言をするなど国民を不安にさせることのないよう「原子力発電所事故に伴う政府の適切かつ明確な行動を求める意見書」の2件を全会一致で可決し、内閣総理大臣等へ送付しました。

## 福生市清潔で美しいまちづくり条例が施行されました

市議会の第2次議会改革検討協議会で、政策立案プロジェクトチームを立ち上げ、先進地の視察や8回にわたる政策の研究会議を経て、平成22年12月の定例会で議員提出議案として可決した「福生市清潔で美しいまちづくり条例」がこの7月1日に施行されました。

この条例は、市民の皆様への御協力をいただき、今よりもさらに快適に暮らしていただくという考えのもと、ポイ捨て、犬のふんの放置、さらに喫煙に関するルールを定めています。

内容としては、市の責務をはじめ、市民の皆様、さらに市内で事業を行う方の責務を定め、一定の制限を条例化したものです。

施行にあたっては、7月1日に福生駅東口ペDESTリアンデッキにて条例施行キャンペーンを実施し、市庁舎には懸垂幕をかけています。

また、JRの駅などには横断幕やのぼり旗を設置し、市民への条例周知を図るほか、マナーアップ指導員を設置し、毎週月曜日から金曜日の午前7時から正午まで市内のJR駅付近や公園などのごみを清掃しながら、市民への条例の周知徹底を図っています。

## 議員表彰

全国市議会議長会では、議員として永年地方自治に功績のあった方々を表彰しています。

平成23年度においては、次の方々が表彰されました。

議員20年以上 大野悦子議員 田村正秋議員

## 特別委員会活動から！

### 災害に強いまちづくり特別委員会

東日本大震災は、改めて災害に対する備えの重要性を訴えています。そのような状況で、「災害に強いまちづくり特別委員会」が設置され、初めての委員会が6月16日に開催されました。

◎東日本大震災に伴う対応について  
東日本大震災に際して市がとった対応について、理事者から次の報告がありました。

① 発災の概要説明

② 震災直後の対応

市職員、消防団によるパトロールを実施し、状況把握を行った。  
帰宅困難者126人を市民会館に受け入れた。

③ 市民等への周知等

広報ふっさ臨時号、ホームページで市の対応や問い合わせ一覧を周知し、災害コールセンターを設置した。

④ 計画停電及び節電への対応

市役所時間外開庁の一時休止、公共施設の利用時間一時制限、道路照明一部消灯等を行った。

⑤ 被災地への支援

総額1億1660万2円の義援金があり、支援物資4品目を被災地へ搬送し、併せて、市備蓄品も提

供した。また、避難者への住まい提供については、市営住宅3戸を提供し、被災地への人的派遣なども行った。

⑥ 市内への避難者の状況

避難者は51人22世帯で、ふっさげんきサポートカードを希望者に配布した。



▲災害に強いまちづくり特別委員会

◎今後の委員会の進め方について  
東日本大震災の教訓を学び、新たな視点で

① 福生市防災計画の見直しの復興支援

② 東日本大震災被災地への復興支援

③ 災害に強いまちづくりの3項目に関して調査・研究し、市民生活の安全安心のための措置を講じて行きます。

また、6月21日に開催された委員会では、今回の大震災で感じたことや学んだことの意見を出し合い、次回の委員会でも集約することになりました。

## 横田基地対策特別委員会

6月17日に委員会が開催され、5件の議案を審査しました。

◎横田基地周辺対策等要望事項(案)について

横田基地対策特別委員会では、防衛省に対しての要請行動として毎年要望書を提出してあります。今回の委員会では、その要望書の内容について協議しました。昨年との変更点は、航空自衛隊横田基地の新設という態様の増額、五日市街道引込み線の砂川街道踏切に信号機を設置するための協力などです。なお、踏切に信号機を設置することにより、踏切手前での一時停止が不要となるため、渋滞の緩和が見込まれます。また、本年の要請行動は8月2日に行うという事で決定しました。

◎平成22年度防衛補助事業実施状況について

平成22年度の防衛補助事業、並びに特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の実施内容について理事者より説明があり、その内容について協議しました。主な防衛補助事業は、市道幹線II-18号線外1改良事業、福東緑地整備事業などです。

◎航空自衛隊航空総隊司令部の移駐状況について

航空自衛隊航空総隊司令部の移駐状況について理事者より説明がありました。航空総隊司令部庁舎棟などは、地上部分は完成し、地下部分は連絡通路も含め8月工事完了予定とのことです。

◎防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律の一部改正及び政・省令の制定について

改正、制定の内容について理事者より説明がありました。特定防衛施設周辺整備調整交付金については、ハード事業だけでなく、ソフト事業にも充当が可能となり、基金としての運用もできるようになりました。併せて、再編交付金もハード事業について基金運用出来るようになりました。

◎平成24年度防衛補助事業概要要望について

平成24年度の防衛補助事業として概要要望をしている事業の内容について理事者より説明があり、その内容について協議しました。主な防衛補助事業は、市道幹線II-18号線外1改良事業、福東緑地整備事業などです。

◎航空自衛隊航空総隊司令部の移駐状況について

航空自衛隊航空総隊司令部の移駐状況について理事者より説明がありました。航空総隊司令部庁舎棟などは、地上部分は完成し、地下部分は連絡通路も含め8月工事完了予定とのことです。

◎防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律の一部改正及び政・省令の制定について

改正、制定の内容について理事者より説明がありました。特定防衛施設周辺整備調整交付金については、ハード事業だけでなく、ソフト事業にも充当が可能となり、基金としての運用もできるようになりました。併せて、再編交付金もハード事業について基金運用出来るようになりました。

## 編集後記

東日本大震災の影響で、防災に関連した一般質問が多く議員から行われました。当市議会においても「災害に強いまちづくり特別委員会」を設置して、防災計画の見直し等に取り組んで参ります。◆平成18年に行われた地方自治法の改正により、委員会として議案を提出できるようになりました。本定例会において当市議会初の委員会提出議案が上程され、東日本大震災関係の意見書2件が可決されました。議会運営委員会において検討し全会一致で提出することになった案件です。◆本定例会にも多くの市民の皆さまが傍聴に来てくださいました。一般質問においても分かりやすいやり取りが必要と思われ、一問一答方式による質疑が増えてきました。議会改革進行中ですが、改選後初の定例会でしたが、提出議案の少なさが印象的でした。国政が滞っているのではないかと危惧しています。◆会期中30℃を超える日がありました。本定例会はクールビズで臨んでいきます。市長、議長もノーネクタイでしたが真剣勝負です。ネクタイを一度外すとやめられません。

